標準施工マニュアル

一般建築物コンクリート基礎面仕上用

腰モルタル

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

HOUN

〔目　　的〕

この施工マニュアルは、「腰モルタル」の塗り工事に於ける品質基準の確保と低亀裂性、耐久性等を追及する為のものです。

〔用　　途〕

「腰モルタル」は住宅基礎用の既調合セメントモルタルです。

〔特　　長〕

一般建築物コンクリート基礎面仕上げ用既調合セメントモルタルとして、軽量で作業性に優れ、塗布後のしまりが早く、仕上げが容易です。刷毛引き、コテ押さえ両用型で、刷毛引き仕上げにありがちな表面骨材の脱落が少ないです。

〔使 用 材 料〕

○「腰モルタル」　　正味質量 25 kg　　防湿紙袋入り

○「シーラーN＃45」　　18kg 缶入り、4kg･1kg ポリ容器入り

（吸水調整、モルタル接着増強用　エチレン酢ビ系共重合エマルジョン）

〔調　　合〕

腰モルタル	２５ ｋｇ/ 袋
上　水　道　水	約７～７．５　ℓ
シーラーN#45	０．５ｋｇ

練上がり量　：　約２２　ℓ

標準塗厚　：　５～７ｍｍ

１袋あたり　：　４．４～３．１㎡

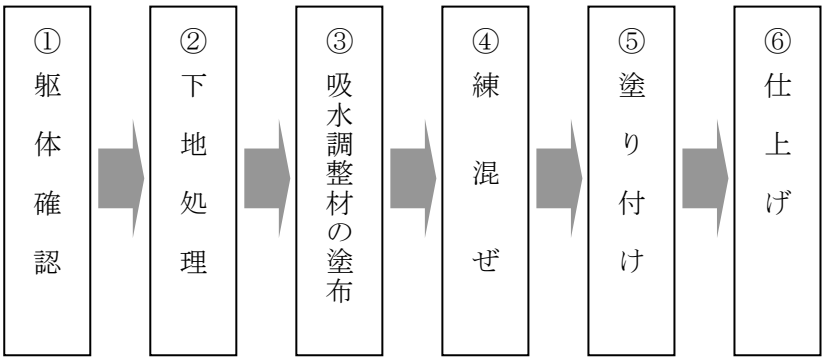
○吸水調整材

「シーラーN＃45」３倍液　⇒　シーラーN#45 ：　上水道水　＝　１：２

塗布量：１５０ｇ／㎡

塗布回数：１～２回

〔施 工 工 程〕



[施工方法]

「躯体確認」

○ 施工に先立ち、コンクリート下地の表面の脆弱部分、ひび割れ等、モルタルの施工に支障がないか点検を行って下さい。著しい不陸部分やジャンカ、ひび割れ等は施工の２～３日前に補修を実施して下さい。

特にジャンカ、ひび割れについては浸水の原因となるおそれがあるため、十分注意して下さい。コンクリート打設時の水の移動により、不純物が強度の低い表層を形成している場合があり、このような脆弱部は除去して下さい。割れや剥離の原因となります。

○ その他施工に支障がある場合は施工監理者と協議の上、適切な処置を講じて下さい。

○ 施工前に躯体温度が５～４０℃の範囲内であるか確認し、範囲外であれば、水打ち、シート養生をして適正な温度にして下さい。

○ 躯体が高温度の場合、ドライアウト、亀裂、クラック、剥離等の原因となり、低温度の場合は接着不良、硬化遅延、ズレ・剥離、白華等の原因となります。

「下地処理」

○ モルタルの接着を強固にするために、下地コンクリート面のレイタンス、突起、油分、汚れ、脆弱部等をワイヤーブラシやサンダー等で除去し、水洗いをする等して強靭な素地を出して下さい。

○ 特殊な塗装合板や剥離剤を用いたコンクリート面、またはPC板等は全面研磨して下さい。

○ 金属部分が下地表面にでている場合は除去し、表面を錆止め処理して下さい。

「吸水調整材の塗布」

○　下地コンクリート面の吸水調整のため下地清掃後に、シーラーN＃45の３倍希釈液（シーラーN＃45：１＋上水道水：２）を刷毛やローラーなどで、ダレ・塗残しのないように均一に塗布して下さい。

○　下地を十分に清掃してから塗布して下さい。ドライアウトや接着不良の原因となります。

○　1回目塗布後、下地面の吸水が著しい場合は2回目の塗布を行って下さい。

○　希釈倍率を厳守して下さい。希釈倍率を変えて塗布した場合、吸水調整不良、エアかみや剥離の原因となります。

○　吸水調整材の塗布後、長時間放置すると埃等が付着し、接着を阻害するおそれがあります。塗布から２４時間以内にモルタルを塗布して下さい。

「練混ぜ」

○　腰モルタルの標準配合は1頁の[調合]を参照下さい。

○　標準水量より少なめの上水道水をバケツ等の容器にとり、シーラーN＃４５を加えて混ぜて下さい。

○　混ぜた水溶液の中に腰モルタルを徐々に加えながらミキサーで練混ぜて下さい。

○　続いて残りの上水道水を少量ずつ加えて3分以上練混ぜ、適度な軟度へ調整して下さい。

注）規定水量以上の上水道水で練混ぜると、品質基準の性能が維持出来ない場合や割れ・剥離、その他異常の原因になります。ご注意下さい。

「塗り付け」

○　練混ぜたモルタルを下地へ薄くコテ圧をかけながら下ごすりして下さい。その後、所定の厚みへ塗り付けして下さい。

○　下ごすりは必ず実施して下さい。下ごすりを行わないとエアかみや剥離の原因となります。1度に厚みを付けて塗布した場合、エアが抜けず、エアかみが発生します。

○　換気口部分は構造上、亀裂が入りやすいので必ず周囲に亀裂防止用のネットを下塗りと上塗りの間に伏せ込むなどの処置を実施して下さい。

「仕上げ」

○　刷毛引き、コテ押さえは上塗り後、しまり・水引き具合を見計らってから行って下さい。もみ起こしをする場合は、もみ浮き、ズレに注意しながら行って下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。
「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、
安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお練混ぜには上水道水を使用して下さい。
2. 練混ぜた材料は 30 分間以内に使用して下さい。練足しや加水して練戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が５℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から６カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS５〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取り扱い時の安全対策（概要）

・取り扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取り扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気の場所に移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー　株式会社 豊運

ISO 9001

本　社　〒546-0003
大阪市東住吉区今川３丁目12番４号
TEL 06-6708-8131　FAX 06-6708-8133
URL:http://www.ho-un.co.jp/

東日本営業部　TEL 0247-54-3232　FAX 0247-24-1004

西日本営業部　TEL 06-6708-8131　FAX 06-6708-8133

改訂　2024/12　第6版